

検討テーマ	震災遺構の整備による震災伝承		
	平成 27 年度・平成 28 年度	平成 28 年度	
整備対象	①本校舎	②特別教室棟 ③体育館	④学校敷地全体（環境整備）
検討内容			
現状	<p>1 建物構造基礎調査</p> <p>①コンクリート圧縮強度試験（コア法） ②コンクリート中性化深さ試験（コア法） ③コンクリート塩化物イオン含有量（コア法） ④鉄筋腐食度／配筋状況調査（研り法）</p>	<p>1 建物構造基礎調査</p> <p>・特別教室について、構造の基礎調査は不要である。 ・体育館については、構造の基礎調査が必要な場合がある。</p>	<p>1 学校敷地の現況調査</p>
診断評価課題	<p>2 耐震診断</p> <p>①部材の終局強度算定時の軸力は長期軸力とする。 ②袖壁付柱の耐力は、準拠基準に従い計算する。 ③2～R階の外力分布、偏心率、（剛／重）比は診断基準の方法による。</p>	<p>2 耐震診断</p> <p>・特別教室について、耐震診断は不要である。 ・体育館については、耐震診断が必要な場合がある。</p>	<p>2 環境整備上の課題</p>
構造検討	<p>3 保存・活用ケースに対する基本構造検討</p> <p>1) 保存・活用ケースに対する基本構造検討方針 2) 保存・活用ケース別基本構造</p> <p>①全体保存時に耐震補強を行った場合 ②-1 部分保存ケースB（公開有り） ②-2 部分保存ケースB（公開無し） ③-1 部分保存ケースC（公開有り） ③-2 部分保存ケースC（公開無し） ④ ケースD（一部保存・構造補強兼観察棟増築） ⑤ ケースE（全体凍結保存・観察棟増築） ※ケースD、Eについては会議メンバーの東北大学小野田教授による提案</p>	<p>3 整備計画案に対する基本構造検討</p> <p>・本校舎において、ケースDならびにケースEが採用される場合は、耐震補強のための基本構造検討が必要になる場合がある。</p>	
ケース検討	<p>4 保存・活用ケース比較検討</p> <p>1) 建物の概要と東日本大震災による被害等の経験 2) 震災伝承と地区（コミュニティ）活性化上の意義・役割 3) 震災遺構としての対応パターン 4) 建物構造等の状況や市民等の意向</p> <p>①建物の構造等の状況 ②市民・住民の意向（H27：市民アンケート調査・地区住民アンケート調査・意見交換会 H28：検討会議ほか）</p> <p>5) 震災遺構対応パターン別の課題 6) ケーススタディ</p> <p>①ケースA：解体し、重要な壁等を残す ②ケースB：部分（3階まで）を保存、重要な部屋等を公開 ③ケースC：部分（2階まで）を保存、重要な壁や部屋等を公開 ④ケースD：建物の一部を保存し、構造補強を兼ねた観察棟を増築して、そこから内部を観察 ⑤ケースE：建物全体を凍結保存し、観察棟を増築して、そこから内部を観察</p>	<p>4 整備計画</p> <p>1) 建物の概要 2) 震災伝承と地区（コミュニティ）活性化上の意義・役割 3) 建物構造等の状況や市民等の意向</p> <p>①建物の構造等の状況 ②市民・住民の意向（H28：検討会議ほか） ※新門脇地区復興街づくり協議会からの要望（地域コミュニティ再生、集会所・コミュニティセンター整備）を受けて、コミュニティ活性化について検討する。</p> <p>4) 整備計画</p> <p>・構造的に余裕のある既存校舎（体育館、特別教室棟）の内装をリノベーションし、Ⅰ：展示・教育、Ⅱ：地域コミュニティ支援、Ⅲ：防災研究機関連携の3機能を統合。 i) ケースD ii) ケースE（構造補強を兼ねた観察棟と一体化した施設）</p>	<p>3 環境整備計画</p> <p>1) 敷地の概要 2) 震災伝承と地区（コミュニティ）活性化上の意義・役割 3) 敷地環境等の条件や市民等の意向</p> <p>①周辺環境・敷地環境等の条件 ②市民・住民の意向（H28：検討会議ほか）</p> <p>4) 整備計画</p> <p>・旧門脇小校庭及び街区公園（市）、南浜復興祈念公園（県）の整備を連携し、デザインに統一性を持たせる。 ・旧門脇小の校庭は、見学者と地域利用者との動線を分けて確保し、トラック上には亡くなった方の数の種類だけ花を植え、慰霊の場とする。 ・校庭の一部と街区公園を利用し、石巻市での防災教育やまちづくり学習のイベントに活用する。</p>
整備計画	<p>5 施設の維持管理・運営の方針</p> <p>※建物の維持管理や視察の際の出入り（人や日時、場所）などを含めた運営についての方針を整理する。</p>	<p>5 施設の維持管理・運営の方針</p> <p>※建物の維持管理や運営についての方針を整理する。</p>	<p>4 敷地の維持管理・運営の方針</p> <p>※敷地の維持管理や運営についての方針を整理する。</p>

検討
テーマ

整備対象

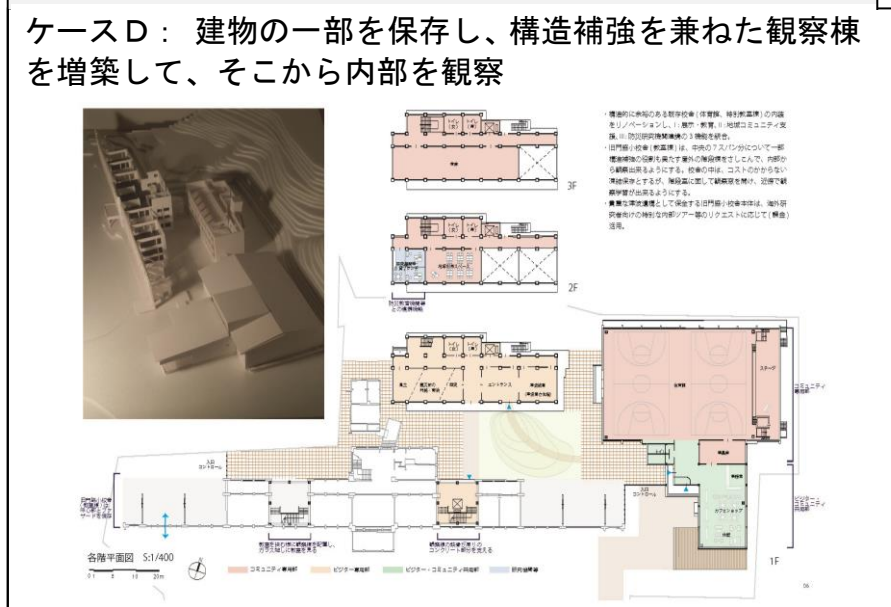
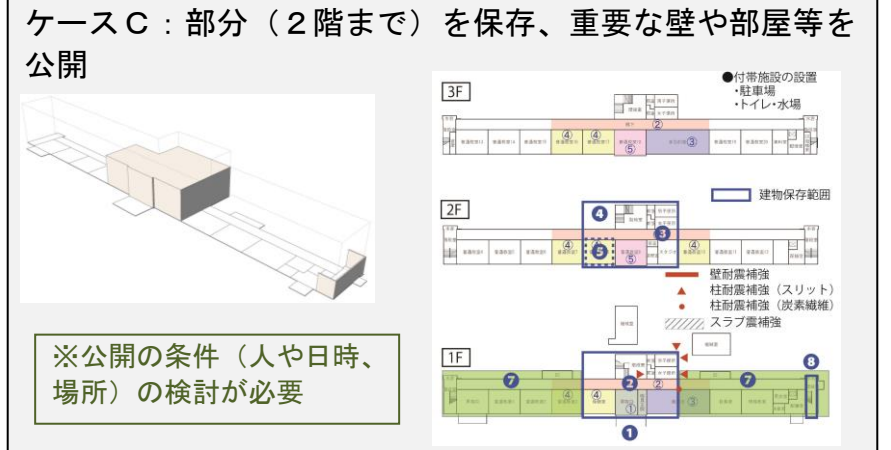
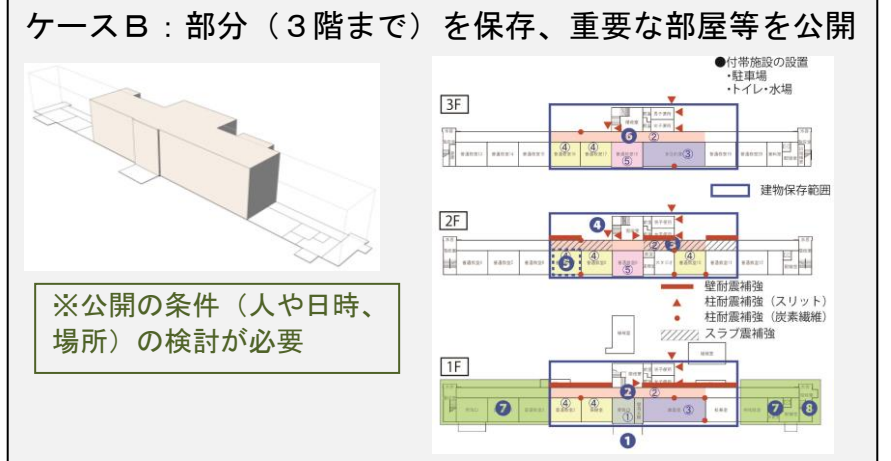
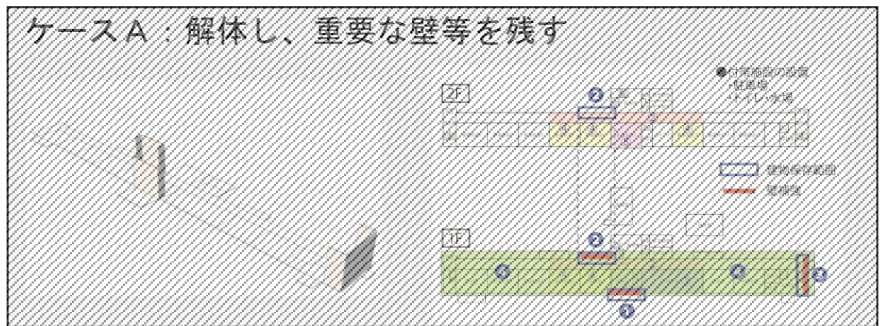
検討内容

※本校舎の公開の方法は、何をどのように伝承していくのかの基本方針に合わせる。

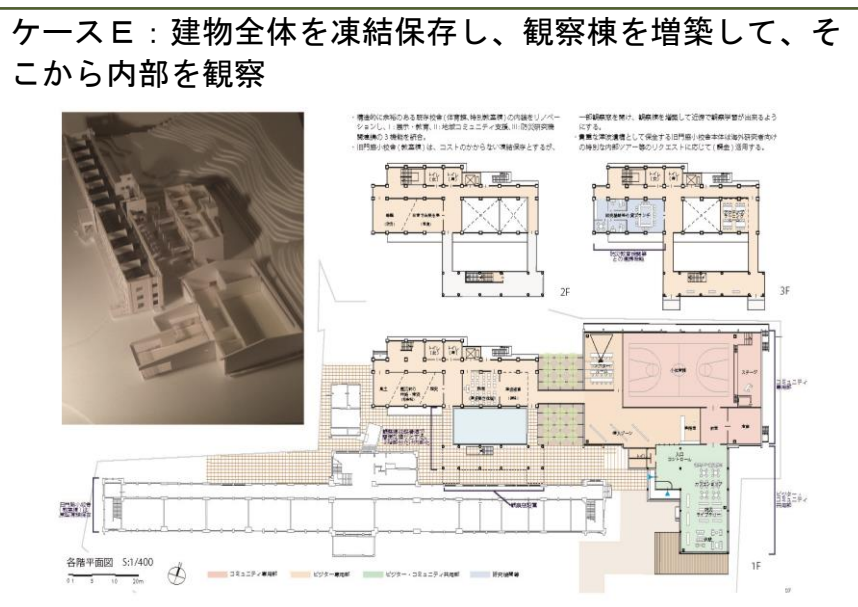
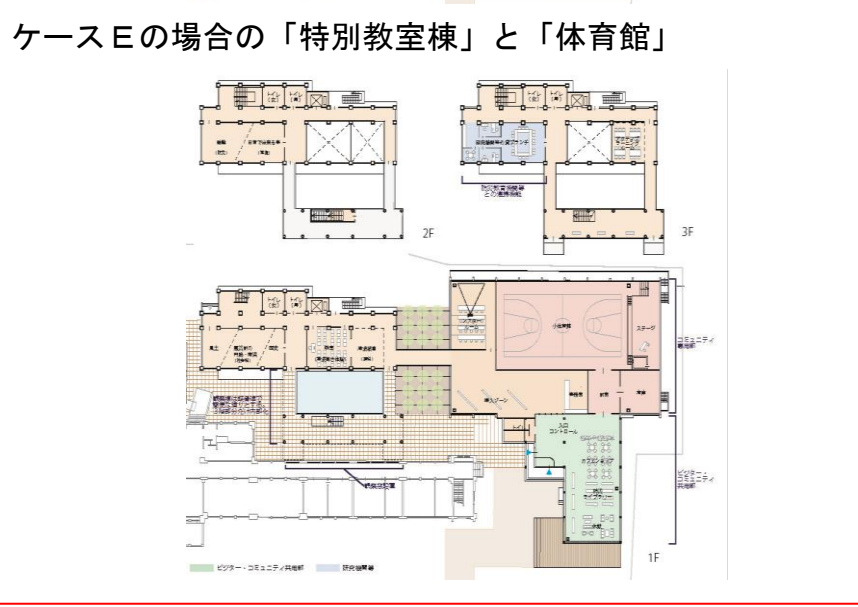
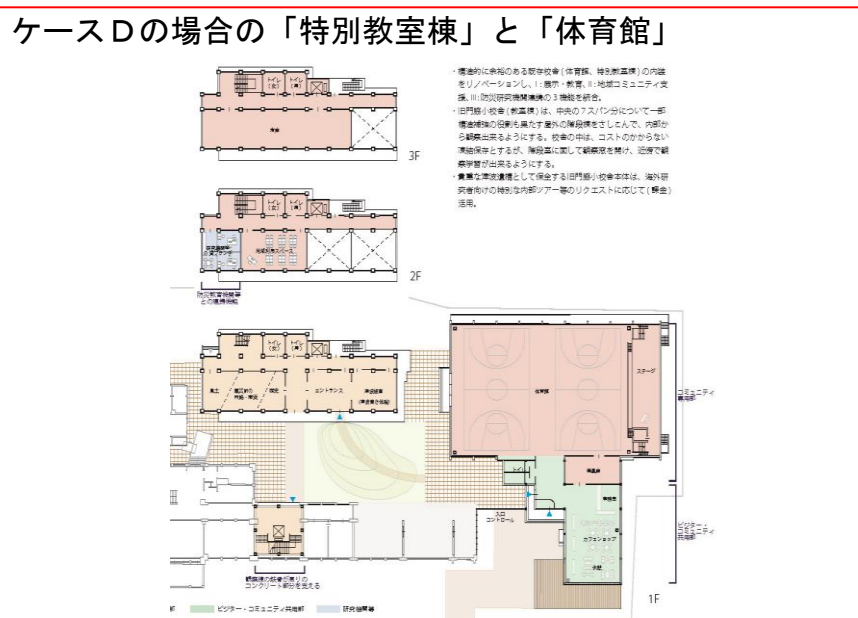
震災遺構の整備による震災伝承

新門脇地区（コミュニティ）の活性化

①本校舎



②特別教室棟 ③体育館



④学校敷地全体（環境整備）

